



JR東日本会社による 組織ぐるみの組合脱退策動発覚！

2月13日から始まった、会社幹部による「職場巡回」の目的は、「脱退者づくり」である決定的証拠が東京地本に寄せられました！

2月某日 都内某運車職場にて、会社の大幹部の発言

- ・みんな、そっち（組合）系？
- ・これ（組合）、やる人多い？
- ・会社は引く気ないから！
- ・ハシゴを外さないように！
- ・会社トップに任せています！

組合員のみなさん！

これが、現在のJR東日本で起きている不当労働行為（脱退強要）の推進構造です！この職場巡回に基づいて、現場長が組合員に組合脱退強要しているのです！

現場長は「自分で判断しろ」「脱退した社員は会社が守る」と連呼しますが、**ウソ**です！ぜひ、現場長に聞いて下さい！

- ・増え続ける超勤から、社員を守ってくれるのでしょうか？
- ・出向・転籍などから、社員を守ってくれるのでしょうか？

乗務員職場では、2月28日から休憩室に監視カメラが設置されました。管理強化と服従を迫る「モノ言えない職場」にさせてはいけません！！

**今こそ、JR東労組の旗の下に結束しよう！
「脱退第一」からは、健全な企業は生まれません！**